

青森県立保健大学 ヘルスプロモーション戦略研究センター 第I期プロジェクト型研究

「多層的予防介入による壮年期自殺予防プログラムの効果評価：うつ病スクリーニングとケアマネジメントによるアプローチ」

新旧対照表

新	旧
<p>研究 B. 「うつ病スクリーニングとケアマネジメントによる地域介入が及ぼす壮年者自殺死亡リスクへの影響—中間報告における過程評価—」</p> <p>(略)</p> <p>Ⅲ. 結果の概要</p> <p>協力の得られた 8 市町村 (三八地域、上北地域、中南地域) では、2020 年から 2022 年をととして 中高年者を対象に自殺予防対策 事業が継続されている。今回の中間評価の時点で、大規模に実施された 6 市町村では、壮年者 (30~64 歳:全年齢/5 歳毎;性別:男女/男性のみ) 240 名~2,012 名 (1 市町村当たり) に対して、原則、TDM 郵送法によりうつ病スクリーニングが配布された。</p> <p>3 年間の 8 市町村における全体スクリーニングの参加率は 23.1%~59.8% に分布していたが、これは、TDM 郵送法の細かな実施方法の違いによって差が生じていたことと関連している。全体スクリーニング陽性者は 16~211 名 (13.4~26.6%)、精査スクリーニングによるうつ病エピソード有症者は 3~39 名 (1.5~8.6%)、陽性反応的中度 (PPV) は 7.5~37.5%であった。</p>	<p>研究 B. 「うつ病スクリーニングとケアマネジメントによる地域介入が及ぼす壮年者自殺死亡リスクへの影響—中間報告における過程評価—」</p> <p>(略)</p> <p>Ⅲ. 結果の概要</p> <p>協力の得られた 8 市町村 _____ では、2020 年から 2022 年をととして _____ 事業が継続されている。今回の中間評価の時点で、大規模に実施された 6 市町村では、壮年者 (30~64 歳:全年齢/5 歳毎;性別:男女/男性のみ) 240 名~2,012 名 (1 市町村当たり) に対して、原則、TDM 郵送法によりうつ病スクリーニングが配布された。</p> <p>3 年間の 8 市町村における全体スクリーニングの参加率は 23.1%~59.8% に分布していたが、これは、TDM 郵送法の細かな実施方法の違いによって差が生じていたことと関連している。全体スクリーニング陽性者は 16~211 名 (13.4~26.6%)、精査スクリーニングによるうつ病エピソード有症者は 3~39 名 (1.5~8.6%)、陽性反応的中度 (PPV) は 7.5~37.5%であった。</p>